

平成23年度市民による事業評価の評価結果に対する市の方針

事業名称	ふれあいセンター管理経費	担当所管	市民協働課
市民による評価結果	更なる取り組みが必要 (経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入※)		
評価結果に至る具体的な意見・提案の例	<ul style="list-style-type: none"> ・知名度や利用者数を増やすための更なる工夫と努力が必要である。 ・年代別に高齢者向け、若い人向けなど広報の仕方を工夫してはどうか。 		
市の方針 (市としての評価)	更なる取り組みが必要 (経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入)		
方針の内容	<p>【利用者増を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな広報手段として、ふれあいセンターで開催されるイベントの情報を市ホームページの「東村山市カレンダー」へ掲載し、ふれあいセンターの知名度向上を図る。 ・各部全庁的に、ふれあいセンターの活性化のためにどう働きかけていくかを検討する。 <p>【運営への参加を促す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代が運営に携われるような方策を市民協議会と協力しながら検討する。 ・地域住民自らが運営するという施設の方針を市がさらに周知することで、運営を支援する。 <p>【他の施設との役割分担を検討する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の施設との統廃合については、地域の公共施設の再配置という観点で他の施設のあり方や利用状況等についての検証を行い、互いの役割分担を検討する。 		

事業名称	市営賃貸工場アパート管理事業費	担当所管	産業振興課
市民による評価結果	縮小の方向へ (規模縮小(将来の廃止も含む))		
評価結果に至る具体的な意見・提案の例	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の誘致企業の将来性を見極めるのは、行政が行うには難しい点もあり、将来的には廃止の方向だと思う。 ・目的が曖昧で効果が期待できない。思い切って別の零細企業育成支援策に転化していくほうが良い。 		
市の方針 (市としての評価)	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
方針の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料滞納に関しては、過去の滞納事例を検証したうえでルールを整理し、それに基づいて肅々と対応していく。 ・使用料にかかる事務作業を第三者機関へ委託することで滞納を抑制できないか、検討する。 ・新規入居者に対し、入居時に収める保証金額を増額することや、連帯保証人条件を強化することを検討する。 <p>・市としての商工業振興施策のあり方を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのうえで、15年後(平成38年度末)の現入居者の使用期間及び東京都との土地賃貸借契約期間の満了を事業の転換点とし、それに間に合うよう、コスト比較等しながら今後の方向性(廃止か継続か)を決定し、必要な措置を講じる。 ・平成38年度末までは、期限付きで部屋を継続して貸し出すか、または他用途での使用を検討し、施設の有効活用を図る。 		

事業名称	社会福祉協議会運営助成事業費	担当所管	地域福祉推進課
市民による 評価結果	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
評価結果に至る具 体的な意見・提案 の例	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が良い意味で関与し、社協の経営をより明確にすべき。人件費も含めて、経営効率が上がるように関わってもらいたい。 ・市と社協の基本的な業務分担の協議はもつとなされるべきである。 		
市の方針 (市としての評価)	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
方針の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進の観点から、市と社協との関わり方、役割分担についての方針を作成し、社協と協議して25年度上半期を目途に決定していく。 		

事業名称	東村山市シルバー人材センター運営事業費	担当所管	高齢介護課
市民による 評価結果	更なる取り組みが必要 (経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入)		
評価結果に至る具 体的な意見・提案 の例	<ul style="list-style-type: none"> ・広報については、センターを広く知らせる段階ではなく、実際に仕事を依頼してみようというところまで行動させるものでなければならない。 ・センターには、自ら需要を拡大していく、待ちの姿勢ではなくこちらから仕事を求めていく姿勢が必要である。 		
市の方針 (市としての評価)	更なる取り組みが必要 (経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入)		
方針の内容	<p>これまでの取り組みを継続して支援していくとともに、センターの需要拡大の取り組みについて情報共有を行いながら具体策を検討していく。</p> <p>【検討している具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の施設等を利用した実演等による周知活動 ・介護保険適用外の家事援助サービスを低価格で提供するなど、より気軽に利用しやすいしくみの開拓 ・市からの受託業務の継続、確保 ・女性会員の開拓も含め、手芸、縫製、調理分野での知的財産の活用 		

事業名称	憩の家運営事業費	担当所管	高齢介護課
市民による 評価結果	縮小の方向へ (規模縮小(将来の廃止も含む))		
評価結果に至る具 体的な意見・提案 の例	<ul style="list-style-type: none"> ・既に40年の歴史があり、この間社会環境等状況の変化が著しい。憩いの家の役割は果たされたとみるべき。目的を達成するためであれば、建物やスペースはどこでもよい。 ・場所や付帯設備を提供することよりも、高齢者が主体的に動けるような事業こそが必要である。 		
市の方針 (市としての評価)	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
方針の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の活動場所の提供、居場所づくりは今後も継続していく。 ・この目的において、付帯設備等も含めて施設としての憩いの家が果たす役割については、利用者へのアンケートを実施し、利用実態や満足度をはかる中で検証していく。 ・施設の建て替えが必要な場合には、場のあり方としては、現行の施設の形態にはとらわれずに、複合施設化や地域に密着した拠点づくり等を検討し、多世代の交流や施設の有効活用を図っていく。 		

事業名称	老人クラブ助成事業費	担当所管	高齢介護課
市民による 評価結果	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
評価結果に至る具 体的な意見・提案 の例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのための活動だけでなく、地域貢献をしているクラブを評価して、厚めに助成をしてもらいたい。 ・会員数によって助成額が変わるということなら、本人確認、意思確認は必要である。 		
市の方針 (市としての評価)	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
方針の内容	<p>【助成のしくみの見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の規模や活動の状況に合った適正な助成のしくみについて、東村山市老人クラブ連合会の意見を参考に協議を重ね、検討していく。 <p>【会員の本人確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年助成金申請の際に提出される各クラブの会員名簿と住民基本台帳の記載内容を突合し、申請内容のチェックを強化する。 ・平成24年度中にリストを作成し、平成25年度の助成金の申請から反映させる。 		

事業名称	体育施設維持管理経費 (久米川庭球場用地借地料)	担当所管	市民スポーツ課
市民による 評価結果	縮小の方向へ (規模縮小(将来の廃止も含む))		
評価結果に至る具 体的な意見・提案 の例	<ul style="list-style-type: none"> ・借地してまで確保するのは、市の財政状況が好転するまでは我慢すべき。 ・従来充てていた予算をゼロにするという発想ではなく、運動公園等の代替地を検討しそちらに予算を回してもらいたい。 		
市の方針 (市としての評価)	こうすればよい (経費節減につながる改善)		
方針の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・借地料について貸主と交渉し見直す。 ・借地料を固定資産税・都市計画税の合計額の3倍程度に見直していくことが見込めない場合には、代替手段の確保または廃止を検討する。 		

※「経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入」とは、人・物・財源・情報のいずれか1つ以上を投入することを意味します。